

Janmadin kī Jay Jay!

ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！

グルマーイの誕生日のお祝いの報告
シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム
2016年6月23-30日

第11部

分ち合った意図 マシュー・ホーランド

グルマーイの栄光に輝く誕生日のお祝いの4日目となる6月26日の日曜日の朝、私たちはアヌグラハにあるバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルで「シュリー・グル・ギター」を朗唱しました。

グルの誕生日をたたえる何と完璧な方法でしょう！「シュリー・グル・ギター」は、グルを至高なる神、最高の喜びを与える者、そして知識・大いなる意識・至福の具現であると褒めたたえます。「シュリー・グル・ギター」は、シッダ・ヨーガの道において欠くことのできない教典です。その朗唱は献身の心を育み、グルの恩恵を呼び起こします。その有益な効果には際限がありません。

私はテンプルに入っていくと、バガヴァーン・ニッテャーナンダの崇高なムールティ(像)の前でプラナムをささげました。この地上に、そして私の人生にグルマーイが存在することに、私の心は感謝の気持ちで満ちあふれていました。

私は歌手としてのセーヴァーをささげることになっていたもので、ミュージシャンの一団のいる場所に座りました。

少しすると、グルマーイがハイビスカスの花を一つ、胸元に持って入って来ました。バデ・バーバの前でプラナムをすると、ハイビスカスをとても優しく彼のパードゥカーの上に置き、席に座りました。

司会のスワーミ・イーシュワラーナンダが導いて、私たちは「ジャンマデイン・キー・ジェイ・ジェイ！」と高らかに三唱しました。

スワーミジは「団結した理事」たちを特別に歓迎すると、今日の美德は何か知っているかと皆に聞きました。私たちは喜んで「団結！」と叫びました。そしてスワーミジは言葉を継ぐと、今日はバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルの増築 30 周年の記念日ですと言いました。「最初は、テンプルはバデ・バーバが座る台座が置かれた大きな壇と同じ大きさでしたが、グルマーイが、ナーマサンキールタナや「シュリー・グル・ギター」の朗唱をしたり、今日行われているような崇拜儀式ができるように拡大してほしいと要請したのです」と、スワーミジは言いました。

それから、「1986 年 6 月 26 日にテンプルの増築作業は完了しました。このテンプルは隅から隅まで、セーヴァイトたちの愛情のこもった手で築られました。このテンプルは愛によって建てられ、私たちはその愛を今日感じることができます」と続けました。

スワームジがこう言った時、私は、30年間も数え切れないシッダ・ヨーギと探究者たちが、この神聖な場所を訪れ、ささげ物と祈りを通じて 満たされた心を表現してきたことを考えました。彼らは神を体験し、自らの存在が純粹であることを体験するために、ここに来たのです。このテンプルの神聖さの中で、バデ・バーバの存在の中で、多くの祝福が世界中に送られました——ナーマサンキールタナ、スワーデヤーヤ、アーラティー、瞑想を通して。

それからスワームジは言いました。「昨日、グルマーイは私が皆さんに特別の…」とスワームジは途中で言葉を止めると、テンプル内を見回しました。「どうして皆さんは、ここにこしているんですか」と、彼は目を輝かせて尋ねました。

私たちは皆笑いました。

スワームジは続けて、「今日は、特別なお知らせがあります。そして今、その時が訪れました」

彼はグルマーイが選んだ今年の6月24日の美德は、「浄福」だと私たちに思い起こさせました。

「何と素晴らしい美德でしょう」と、彼は言いました。「何と心に響く言葉でしょう。あらゆる場所にいるシッダ・ヨーギたちには、2016年のグルマーイのメッセージに強く結びつくこの美德に浸る、黄金にきらめく機会があることを、私はわくわくしながらお知らせします」

スワームジが私たちを見ると、私たちは一斉に言いました。

Move with steadfastness
toward becoming
anchored
in Supreme Joy

至高なる喜びに
定着するように
揺るぎない心をもって
動きなさい

スワームジは続けました。「グルマーイによって与えられた 2016 年のバーバ・ムクターナンドのマハー・サマーディを祝うグローバル・シッダ・ヨーガ・シャクティパート・インテンシヴの表題を、皆さんにお知らせすることをとても嬉しく思います。それは、」

The Dawning of Beatitude
浄福の夜明け

一瞬の静けさが訪れ、その後に割れんばかりの拍手が鳴り響きました。

「浄福の夜明け」と、スワームジは再び言いました。「グルマーイ、この素晴らしい表題をありがとうございます」

私にも感謝の気持ちが込み上げてきました。世界中のシッダ・ヨーギたちが浄福の本質について熟考し、自らの内に浄福を発見し体験する機会があることを知り、私はわくわくしました。しかも、この発見の旅を、シャクティパート・インテンシヴで

始められるとは、なお一層重大なことです。この深い神聖な環境でシュリー・グルの恩恵を受け取り、シッダ・ヨーガの修行に浸ることは、まさに私たちの心の中にある浄福に触れることなのです。

スワミ・イーシュワラーナンダはその時、前の日にグルマーイがどのように私たちに、善を世界と分かち合い、すべての人々に団結がもたらされる助けとなりなさいと話したかを語りました。

スワミジは「シュリー・グル・ギター」の第 39 節を読み上げました。

シュリー・グルに敬意を。グルのただ一つの形は至高の真実である。グルの知識により、この世はもはや自分と個別のものとは見なされないであろう。¹

スワミジはそれから、私たち一人一人が団結に焦点を当てた意図を自分なりに持ち、この「シュリー・グル・ギター」を朗唱するように誘いました。皆が静かに座ると、私は内側に入って、心から自然に意図を表す言葉が湧いてくるのを待ちました。グルマーイはミュージシャンのうちの二人に、シッダ・ヨーガのマントラである「グル・オーム」を何分間か歌うように言いました。

それから私たちはグルマーイと一緒に、「シュリー・グル・ギター」を朗唱し始めました。私たちの声がグルをたたえて一つになると、調和が世界中に現れるという私たちの意図を心に思い描きました。音節の一つ一つを歌うごとに、私たちは平和を祈りました。音節の一つ一つを歌うごとに、団結を祈りました。音節の一つ一つを歌うごとに、より大きな愛と理解を祈りました。

¹ *Shri Guru Gita*, verse 39. *The Nectar of Chanting* (SYDA Foundation: South Fallsburg, NY, 1983), p. 17.

「サッドグル・キー・アーラティー」を歌おうと立ち上がると、スワーミ・アカンダーナ
ンダがバデ・バーバのムールティに向かって炎を揺らし、私たちは続けてグルの
栄光を褒めたたえ、祝福を世界にささげました。

「サッドグル・キー・アーラティー」の第1節はこう歌います。

ジャヤ グルデーヴァ アマラ アヴィーナーシ
ニャーナルーパ アンタラ ケー ヴァーシー
パガ・パガ パラ デーデー プラカーシャ
ジェイセー キラネー ディナカラ キー
アーラティー カルーン グルヴァラ キー

純粹で、破壊できない、神聖なるグルに万歳。
知識という形で私たちの内に住み、
太陽の光のように一步一步足元を照らしている。
私に最高のグルのためにアーラティーをささげさせてください。²

アーラティーが終わると、私たちは席に着き、スワーミ・イーシュワラーナンダが
瞑想に誘導してくれました。彼は呼吸に焦点を当てるよう導き、次のように言いま
した。「私たち一人一人の中には、吸気として息を吸い、呼気として息を出す力が
あります。この神聖なる力は、誰の中にあるものも同じです」

瞑想をしていると、私には皆が分かち合う団結への意図の力が感じられました。
その意図はグルマーイの導きと一致し、グルマーイの恩恵で息吹を吹き込まれた
意図でした。

² *Sadguru ki Arati*, verse 1. *The Nectar of Chanting* (SYDA Foundation: South Fallsburg, NY, 1983), p. 69.

時間を超越したあるひと時、穏やかなチャイムと鐘の音が私たちを瞑想から導き出しました。スワーミジは優しく、「ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ」と言いました。

「何と素晴らしいお誕生日のお祝いの4日間だったことでしょう」と、スワーミジは続けました。「それはプールナ——満たされていました。歓喜にあふれていました。ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！ これ以上言うことがあるでしょうか」

一人の男の子が張り切って叫びました。「ジェイ・グルマーイ！」

私たちも一斉に拍手して、叫びました。「ジェイ・グルマーイ！」

スワーミジは続けました。「グルマーイ、シャクティパートを通じて、あなたの教えを通じて、あなたの存在そのものを通じて、至福を世界と分かち合ってください、ありがとうございます。私たちはあなたを愛しています」

グルマーイは晴れやかにほほ笑み、私たちは歓声を上げました。私はこの誕生日のお祝いが、世界にとって真の贈り物であったことを思いました。それは人類を高める吉兆にあふれ、そしてより強い団結と愛をもって前進するよう鼓舞し呼び掛けるものでした。

ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！ 最愛のグルの誕生日に栄光あれ！

私たちは手を合わせてナマステーの形にし、常に甘美な喜びを心にもたらず言葉グルマーイに続いて言い、サツァングを締めくくりました。

Sadgurunath Maharaj ki Jay!

Sadgurunath Maharaj ki Jay!

Sadgurunath Maharaj ki Jay!

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ！

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ！

サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ！

次に続く...

© 2016 SYDA Foundation. 著作権所有。